



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2014-2015)

■ 国際会長(IP) Isaac Palathinkal アイザック ハラシカル (インド)

“Talk Less, Do More” 「言葉より行動を」

スローガン “Do it Now” 「今すぐやろう！」

■ アジア会長(AP) Yaz Okano 岡野 泰和 (大阪土佐掘)

“Start Future Now” 「未来を始めよう、今すぐに」

スローガン “One Asia One world” 「ひとつのアジア、世界はひとつ」

■ 西日本区理事(RD) 松本 武彦(大阪西)

“To walk together,echoing each other” 「響きあい、ともに歩む」

—こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆー—

■ 六甲部部长(DG) 多胡 葉子(宝塚)

『わたしとあなたのY'sダムをYMCAと共に ユース・交流・地域』

■ 西宮クラブ会長(CP) 山口 吉郎

『もっと楽しく、そしてワイズダムらしく！』

“Let's enjoy Y's activities”

★ 2014年11月 西日本区強調ポイント “Public Relations Wellness”

加藤信一 広報・情報委員長(京都トップスクラブ)

「ワイズデーの広報をして、ワイズメンズクラブの認知度を高めましょう」

我らのモットー：強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う

To acknowledge the duty that accompanies every right !

2014年11月第799号

《68期5号》

Since 5.17.1948

スポンサークラブ

・大阪クラブ

DBC 締結(2007)

・近江八幡クラブ

・広島クラブ

クラブ主役員

会長 山口 吉郎

副会長 山本 常雄

直前会長 堤 一幸

書記 廣瀬 一雄

書記 西山 茂夫

会計 足立 康幸

会計 濱崎 進一

監事 岩田 健司

担当主事 宗行 孝之介

部地域奉仕環境主査 堤 一幸

今月の聖句 (岡野アジア地域会長→小野 勲 紡メン)

「体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。一つの部分が苦しめば、すべての部分が苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が喜ぶのです。あなたがたはキリストの体であり、また、一人一人はその部分です。」
(コリントの信徒への手紙一 12章12節・26-27節)

2014年11月第一例会ご案内

日時 11月29日(日) 13時30分~14時

会場: ユースプラザ神戸 EAST

ドライバー: 小野ワイズ、堤ワイズ

＜盛岡YMCA宮古地域震災復興事業の
支援の輪を広げる活動＞講演会＜

1. 集合 13:00

2. クラブ第一例会 13:30~14:00

ワイズソング、打ち合わせ、お誕生、ニュース

3. 講演会準備 14:00~14:30

4. 講演会受付開始 14:30

6. 講演会 15:00~17:00

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター

活動報告とこれからのこと

～宮古を愛する子どもたちの育成事業～

盛岡YMCA総主事 濱塚 有史さん

宮古ボランティアセンター所長 齋藤 勉さん

7. お見送り 後片付け 17:00~17:30

【10月例出席状況】

第1例会(10.19日)

メン・ウィメン 22名

メネット・コメット 9名

ゲスト・ビジター 750名

合計 22(内MU 0名)

出席率 95.7%

在籍数 23名

第2例会(10.24金)

メン・ウィメン 14名

メネット・コメット 0名

ゲスト・ビジター 0名

合計 14名

(累計出席率 94.6%)

【お誕生日】

浅野純一メン(11/10)、山本容子メネット(11/18)

阪根新メン(11/23)、山口吉郎メン(11/30)

【ファンド・BF累計】10月

ニコニコファンド ¥3000 累計 ¥11190

Brotherhood Fund(目標 345\$) ¥5700 累計 ¥16200p

東日本大震災 Fund(目標 ¥27600) ¥3800 累計 ¥108000

【会長メッセージ】

会長 山口 吉郎

10月30日から4日間、宮古・盛岡・仙台へ山本メン(4度目)、山口政メン・廣瀬メン(ともに2度目)、と私(初)の4名で訪問して来ました。正に百聞は一見に如かずで、11月29日の講演会の前に現地を目の当たりに出来たことは大いに参考となりました。宮古ボランティアセンターやいきいきフェアの各施設および宮古教会への訪問、盛岡ワイズ・仙台3ワイズとの交流、盛岡YMCA、仙台YMCAへの訪問と駆け足ですが効率よく廻りました。なによりそれぞれの地で沢山の方とお会い出来、親切におもてないただき有難く思いました。流石にワイズだなと実感しました。詳細は別途報告に譲ります。

10月は、ヴォーリス・メモリアル、じゃがいもファンド、カーニバルの行事と11月の宮古支援講演会の準備・広報と非常に忙しい月でした。また11月に入ると上記の宮古訪問とチャリティランと大きなイベントがあり、それぞれ無事に終わりました。皆様本当にお疲れ様でした。東北から帰り、翌日のチャリティランは少々こたえました。

今月は、拡大例会として盛岡YMCA濱塚総主事および宮古VC斉藤所長をお招きして、表紙記載の演題で講演会を実施します。他クラブやYMCA関係の方にも多数参加いただき、宮古支援の輪を拡げることが最終目的です。29日に向けての諸準備や勧誘、当日の運営等をメンバー全員で行ない、講演会を成功させましょう。皆様よろしく願いいたします。

【第一例会報告】

ドライバー 西山 茂夫
馬場 貴英

カーニバルの恒例の催しものとして、クラブが運営するバザーがあります。10月18日(土)から準備をして19日(日)の本番に至るまで、多くのメンバーやメネットが協力し、運営しました。皆様のご協力、ありがとうございました。

バザーの当日は秋晴れに恵まれ、地域の皆様や多くの方々から寄付いただいた品々を仕分けし、値付けをして販売しました。また、昼食用に準備したカレーライスも完売する盛況で、皆様に喜んでいただきました。来館いただいた方々や子どもたちの多さに驚くとともに、その熱気に圧倒された一日でした。バザーの総売上は614,295円でした。そして、準備、販売、後片付けなど、ご苦労様でした。

併せて、西宮ワイズメンズが継続支援する東日本大震災の被災地、岩手県宮古市の障害者作業所の物品を販売し、皆様にご購入いただきご支援いただきました。
(西山)

◆カーニバル報告

入場者数	約800名(主催者発表)
総売り上げ	614,295円
総費用	163,698円
差引利益	450,597円
蚤の市売上	113,145円
カレーライス売上	62,450円

【ワイズニュース】

会長 山口吉郎

1. これからの宮古支援を考える会 第4回
10月2日(木) 西宮YMCA
案内状発送他
2. 六甲部EMC事業委員会
10月3日(金) 馬場一 小野 賀川記念館
3. ヴォーリス・メモリアル in 近江八幡
10月9日(木) 近江八幡クラブ堀江メン講演
交流会(3DBC+茨城+宝塚 上弘にて)
11名+α参加
4. ジャガイモファンド
10月10日(金) 受入れ 11・12 配送
じゃがいも 675、かぼちゃ 123、3種 123
5. 西宮YMCAカーニバル
10月18(土)-19(日) カレー、蚤の市
6. 西日本区大会後DBC交流会場下見
10月20日(月)南港地区
7. 六甲部役員会
10月23日(木) 神戸 YMCA 山口吉
8. 西日本区次期役員研修会 クライト新大阪 小野
9. 第五次宮古訪問
10月30日(木)-11月2日(日)
山口政、山本、廣瀬、山口吉
10. チャリティラン 11月3日(月) しあわせの村
カレー販売とグループラン 慰労会キララ
デジヨガス: 山口メ・山口メ・濱・廣瀬・山口吉
ナイトランカース: 藤原・山本・馬場一・長井・万本
11. 地域奉仕・環境事業委員会 神戸YMCA
石井、阪根
12. 第二例会 西宮YMCA
11月14日(金)19:00-
13. ネット連絡会 神戸YMCA 山口まり子
14. 宮古支援事業講演会 第一例会
11月29日(土) 13:00~15:00~
KOBЕ ユースプラザ 懇親会
15. クリスマス祝会 12月13日(土)
三宮グリーンホテルB1
(他クラブ)宝塚:12/10 神戸ホ:12/11
神戸:12/13 学園都市:12/13 芦屋:12/23

【YMCA ニュース】



宗行 孝之介ワイズ

いつもお支えありがとうございます。台風一過で急に秋色が深くなりました。お元気でしょうか？

さて、今回はYMCAのリーダーシップについてお話したいと思います。このリーダーシップという奴はもうそれこそ聖書の時代から現代に至るまであらゆる社会、あらゆる場面で課題となっています。YMCAは従来からこの分野については「餅屋」であったはずなのですが、近年これについての課題が非常に大きくなってきました。ワイズメンズのみなさんはY関係者も多いですから、私も含めて「今のスタッフは昔とちゃうな」とか「最近のリーダーは昔と変わったな」なんて感想をもたれることが多いかもしれません。誤解を恐れずに言えばその感想はどちらかといえば肯定的というよりその反対のニュアンスが多いのではないかと思います。これには二つの回答があると思います。ひとつは「いやいや、先達のみなさんも未熟なときはあったはず、そしてそのときはその方々もさらに先達の方々からは厳しい指摘を頂いていたはず」というもの、これはよくある話ですね。しかし今ひとつは残念ながらおっしゃるとおりなんです。私は学者ではないのでその原因についてはここで言及することは避けませんが、YMCA的に言うと最近の仕事の「分業化」が極端に進行しすぎた、そしてそのことの弊害を我々があまり気づいていないことが大きいのではないかと思います。よく「役割分担」といわれますが、その役割を与える側と受ける側が同じ「役割」を理解していなければ成立しませんが、往々にして二者間でバイアス(偏り)が起こります。これを避けるには「一緒にやってみる」ことが絶対に必要です。かつてYMCAキャンプでスタッフ同士、リーダー同士、キャンパー同士、あるいはリーダーとキャンパーの間でも当然起こっていたことですが、これがキャンプですら意識しないと起こりにくくなっています。OJTといいながらすべてリーダーがやってしまい、キャンパーは見ているだけ。あるいはその反対というのは容易に散見されます。特に近年はYMCAのスタッフ数が減少しつつありますので余計にこの傾向が大きくなってきました。何とかこの傾向を食い止めたいと努力していますが、資源が枯渇しつつある我々にとっては困難を極めます。そこで考えることはレイパーソンという資源です。これを有効活用しない手はありません。幸いファミリープログラム、カーニバル、チャリティラン等さまざまな機会が与えられています。この秋どうぞその意味でもよろしく願っています。

【リーダー会便り】

増岡佳奈リーダー

今月のキッズ例会は、台風接近により急遽夙川沿いの公園でネイチャービンゴをして遊んだり、YMCAの教室でハロウィンに因んで魔女の衣装をつくり仮装をしたりしました。キッズの活動も後半に差し掛かり、子どもたちも仲間意識が強まり、どのような活動がしたいか話し合う姿が見られるようになりました。来月から山登りをする予定ですが、山登りでも助け合いながら目的地を目指し、達成感を共に感じる事ができたらいいなと思います！

ジュニアは、西宮YMCAで秋のお楽しみ会をしました。グループで出し物をし、子どもたちで全て準備しました。買い出しは実際のスーパーに行き、頭を使って子ども同士で話し合う時間が多かったです。グループで一つのものを作ったり、グループの色が出た活動となりました。子どもからは「とっても楽しかった」という声がたくさんあがり、リーダー達も楽しめました。これからも子どもたちがより交流出来るプログラムを考えていきたいです。

シニアは、今月は六甲山YMCAで1泊2日のキャンプを行いました。シニアでは毎回、子どもたちの自由度が高くなるよう考えてプログラムを設定しています。今回も、リーダーではなくメンバーが主体のキャンプとなり、探検をしたりボール遊びをしたりと、子どもならではの自由な発想でキャンプを楽しんでいました。今後のシニアも、メンバーの自主性を大切にしながら、グループで協力し、高め合うことのできる場にしていきたいです。

ワイズメンズクラブの方々、いつもご支援いただきありがとうございます。温かいご支援のおかげで今月も楽しい活動を行うことができました。来月からも皆様のお力添えの元、活動に励みたいと思います。

【西日本区だよりー4】

次期西日本区EMC事業主任

小野 勲紘(西宮クラブ)

・次期西日本区準備委員会



今回は月末の次期西日本区役員研修会への予行演習も兼ねて「第4回次期西日本区準備委員会」が10月12日(日)17時から遠藤次期西

日本区理事事務所で開催された。以下各部門の次期方針発表の順

遠藤次期理事は「あなたなら出来る！ きっと出来る！ 一生きる しなやかに さわやかに」という主題。河合主任は見事なPP仕様の分かり易い説明で、特に「Yサカ(Yサリよく)」を強調。PP仕様の熱望が多い。

続く川上主任はお得意のバンジョー演奏を交えてのイントロは訴える力倍増。続く私はPPもエンターテイメントもないが、特に2022年のワイズ100周年に向けた計画的な増員を訴えた。中井主任は「国際」と「交流」をどう位置付けるか、またファンド事業を含む棲分けを強調。遠藤典子主任は東日本震災地域の支援をどのように継続するか。現地とのパイプ役をメネット事業が受け持つ点を強調された。

当日発表はなかったが次期理事キャビネットとして、正野書記、飯沼会計、山田事務局長が同席された。今回山田事務局長とは初めての対面であったが、今後はその回数は増えていきキャビネットの中心的存在を期待する。

・次期西日本区役員研修会

次期への足慣らしとしての次期役員研修会が10月25日(土)－26日(日)ホテルクライトン新大阪で開催された。西日本区役員としての研修会は初めてで緊張感があつた。

1日目は西日本区現況報告(松本理事)、国際議員報告(岡野アジア地域会長)、京都アジア地域大会アピール(森田実行委員長)、役員的心得(吉本元理事)、次期理事方針と役員紹介(遠藤次期理事)、キリスト教理解(江見チャプレン)、YMCA理解(山根連絡主事)、今夏インド・チェンナイ国際大会に参加したIYCの報告、その後同じ会場で食事会、懇親会が持たれた。会長・主査研修会に比べて幾分大人し目のように感じた。会中で多胡六甲部部長からの神戸YMCA建設計画支援講演会をはじめ数件のアピールがあつた。

2日目は早天礼拝で江見チャプレンの奨励、次期主任方針の発表(準備委員会の再現)、文書作成要領(三浦編集委員長)、事務手続きについて、事業通信・事業委員会(大槻ヒストリアン)、議事進行・会議の持ち方について所謂「ロバート議事法」の説明(吉本元理事)。遠藤次期理事を含み実際の役員会を想定したロールプレイで、動議の出し方や議事・協議の進め方などを学んだ。議事の持ち方やロールプレイなどは今迄経験がなく新鮮であつた。以後は部長Gと主任Gに分かれてグループ討議。主任Gは長壽直前ファンド事業主任(岡山)の経験のレクチャーが中心。未だ先のこと内容的には未知数の部分が多い。

研修会終了後、田上クリスチャニティ委員長から次期西日本区役員会の早天礼拝での役割の分担の依頼があつた。(第1回役員会での献金感謝、第3回役員会での奨励)

今回研修会で判明した事実は、坂井次期びわこ部部長、渡邊次期西中国部部長、小野次期EMC事業主任と、奇しくもここでミニ3クラブトライアングルDBCが実現ことでもある。



松本理事



遠藤次期理事



川上地域奉仕・環境事業



森田アジア地域大会実行委員長

【DBC 3 ワイズ交換ブリテン】

西宮クラブ 山口政紀

去る10月9日(木)近江八幡教会で堀江宏メンの講演会がありました。堀江メンはヴォーリズ没後50周年の実行委員長を務められ「ヴォーリズが日本に來られたのはキリストの宣教でありYMCA設立であつた」と語られた。広島からも3名、西宮からは13名が参加し近江八幡クラブメンバー・元ワイズメンもこのひと月イベントに奉仕されておられる。かつてワイズが日本区西部の時代1991年の呉クラブ(28名)が誕生の時、西宮クラブ(32名)会長の濱浩一メンは足しげく広島に出かけ当時の会長遠藤正美メンやスポンサーの広島クラブメンバーたちと大いに交流をした。当時堀江メンは近江八幡クラブがスポンサーで京滋部草津クラブ(29名)の設立の為に転会し尽力されておられた。

その後1997～99年同じ西部であつた広島クラブ(31名)と西宮クラブは西部部長を松本胤之メンから伊地知睦夫メンに引き継ぐなどで相互の交流が深められていたが西中国部と六甲部に分かれることになった。広島クラブと近江八幡クラブは既に相互に交流がありDBCを結ばれていたが2001年1月西宮クラブ長井慎吾会長の[交流強調月間]クラブ例会(お鍋)に広島クラブと近江八幡クラブに声をかけ西宮YMCA会館で改めてお互いの紹介をし今後ブリテン交換や特別例会などの案内と参加で交流を深めることになった。

しばらく西宮クラブはゲストであつたが2004年の淡路島ウエスティンホテル(ホスト西宮クラブ)での3クラブ交流会よりこれを毎年開催し3クラブDBC(トライアングル)を目指し2007年6月大阪で開催された西日本区大会で正式調印をした。(当時の会長は広島クラブ渡辺メン・近江八幡檜山メン・西宮山本常雄メン)

最近西日本区大会後に3クラブ合同例会(DBC)が開催されているがエクスカージョンに参加したいという声も聞かれる。今年も岩国大会後広島クラブ川口博正幹事に大変お世話になりました。紙面を借りて感謝申し上げます。長〜いお付き合いの3クラブ万歳!